

機密

書記官長

書記官

理事官

三五

米三機密合第三七七七號

昭和十二年八月三十一日

外務次官 堀内 謙介

樞密院書記官長 村上 恭一 殿

不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件

本件ニ關シ今般別紙寫ノ通各地方廳ニ通牒致置タルニ付委續右ニ
テ御了悉ノ上公務ノ爲支那ニ派遣セラルル者ニ對シテハ當分ノ關
右手續乙號様式ニ依リ派遣官公署ヨリ身分證明書ヲ發給相成様御
取計相成度此段申進ス

別紙添付

裏面白紙

外務省

機密

寫

急

米三機密合第三七七六號

昭和十二年八月三十一日

別紙添付

外務次官 堀内 謙介

不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件

從來支那ニ渡航スルニハ旅券ノ必要ナク自由ナリシ處今因ノ日支
事變ニ關聯シ支那在留邦人ハ多數引揚ケ其ノ遺留財産ニ對スル保
護警戒等モ行涉リ兼ヌル今日或ハ殘留セル邦人ヲ煽動シテ事ヲ爲
サントシ或ハ混亂ニ紛レテ一儲セントスル等ノ無謂不良ノ徒ノ支
那渡航ハ此際嚴ニ之ヲ取締ルノ必要アリ既ニ滿洲國及關東州ニ於
テハ夫々之カ措置ヲ爲シ又關係在支帝國公館ヨリモ右取締方申越
ノ次第アリタルニ付テハ追テ何分ノ義申進スル迄今後當分ノ關支

外務省

戊

裏面白紙

那ニ渡航セントスル(一)一般本邦人ニ對シテハ所轄警察署長ヨリ(二)又公務ノ爲派遣セラルル者ニ對シテハ派遣官公署ヨリ別紙手續ニ依リ身分證明書ヲ發給スルコトトシ右身分證明書ヲ有スルカ又ハ正式旅券ノ發給ヲ受ケタル者ノ外ハ支那ニ向ケ乗船セシメサル様御取扱相成度而シテ右身分證明書ノ發給ニ關シテハ前記ノ趣旨ニ依リ業務上又ハ家庭上其ノ他正當ナル目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者ノ外ハ此際可成自發的ニ渡支ヲ差控ヘシムルコトニ御取計相成以テ在支皇軍ノ軍後方地區ノ治安確保ニ協力相成様致度尙本件ノ趣旨ハ一般ニ周知方可然御取計相成度右關係官廳トモ協議ノ上依命此段申進ス

本信送付先 警視總監、各地方長官、關東州廳長官

本信寫送付先 內閣書記官長、法制局長官、實勳局總裁、資源局長官、對滿事務局長、企劃廳次長、樞密院書記官長、官內次官、各省次官、社會局長官、貿易局長官、特許局長官、

外務省

會計検査院長、行政裁判所長官、貴族院書記官長、衆議院書記官長、日本郵船會社社長、大阪商船會社社長

外務省

裏面白紙

支那渡航取扱手續

一 日本内地及各殖民地ヨリ支那ニ渡航スル日本人（朝鮮人及臺灣籍民ヲ含ム）ニ對シテハ當分ノ間居住地所轄警察署長ニ於テ甲號様式ノ如キ身分證明書ヲ發給スルモノトス

但シ制服着用ノ日本軍人軍屬ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ身分證明書ハ公務ノ爲派遣セララルル官吏其ノ他ノ者ニ對シテハ派遣官公署ニ於テ乙號様式ニ依リ之ヲ發給スルモノトス

ニ 警察署長第一項ノ身分證明書ノ下付願出アリタルトキハ本人ノ身分、職業、渡航目的、要件、期間等ヲ調査シ左ノ通取扱フ

(1) 素性、經歷、平素ノ言動等不良ニシテ渡支後不正行爲ヲ爲スノ虞アル者ニ對シテハ身分證明書ヲ發給セズ

(2) 業務上家庭上其ノ他正當目的ノ爲至急渡支ヲ必要トスル者以外ノ者ニ對シテハ可成自發的ニ渡支ヲ差控ヘシムルモノトス

三 出發港所轄警察署長ハ第一項ノ身分證明書又ハ帝國政府發給ノ旅

券ヲ有スル者ニ非ラサレハ支那ニ向ケ乗船セシメサルモノトス

四 本身分證明書ノ發給ニ對シテハ手数料ヲ徵收セス

五 本手續ハ支那行外國旅券ノ發給ヲ妨クルモノニ非ス

六 本手續ハ支那現地ノ事態ノ許ス限り可及的速ニ之ヲ解除スルモノ

トス

七 本手續ハ即時施行ス

但シ第三項ニ關スル限り昭和十二年九月十日ヨリ之ヲ施行スル

モノトス

5

裏面白紙

（甲號様式）

身分證明書

本籍

現住所

職業

氏 生 年 月 名 日

→支那へ渡航ヲ必要トスル目的、理由、期間

右證明ス

昭和十二年 月 日

警察署長 官 氏 名 印

6

7

(乙號様式)

身分證明書

官職

氏

生年月日

一 支那へ渡航ヲ必要トスル目的、用務

右證明ス

昭和十二年 月 日

(派遣官公署) 官職氏名 印

裏面白紙